

# 商工業振興策は



**金子 芳継 議員**

**金子** 町内事業者への景況調査実施結果と企業誘致等、地元企業の雇用の問題、地域雇用創出事業の活用など、どのように進めていくのか。

**町長** 町内事業所の景況調査を11月18日、県地域振興局、商工会と共同で27事業所の訪問を行った。

内容は、売り上げ状況、雇用状況、資金調達等、企業の景況を聞き取り調査した結果は、横ばいか悪化している企業が7割近く占めていた。企業訪問の調査結果にあったように、厳しい経済環境のなか、円高による生産拠点の海外へのシフトなど、企業誘致についてもなかなか厳しい環境にあるが、県が主催し、首都圏

で開催される企業立地セミナーなどへ参加しながら、情報収集を行いたいと考えている。雇用の場の創出についても、地域雇用推進事業による新規雇用奨励や、事業活用による経営環境の改善に伴う雇用の場の確保、また県の基金事業である緊急雇用や、ふるさと雇用による雇用の確保に努める。

**金子** 指名審査委員会のメンバーは。工事の早期発注を行うべきではないか。

**副町長** 指名審査委員会のメンバーは、私のほか総務、税務、農林、上下水道、建設の各課長。

町が契約する場合は、一般競争入札が原則であるが、財務規則で工事の請負等130万円以下、財産の買い入れ80万円以下、物件の借り入れ40万円以下の場合、随意契約で行うことができる。この基準を超えるものについては、指名審査委員会にて業者選定をする。

工事等早期発注に関して、実施設計等の業務が整いつつある。速やかに事務手続きを進めている。

## 地域資源開発と観光事業振興策は

**金子** 地域資源開発と観光事業対策のため、専門担当課設置を。

また、じゅんさい産業振興策を今後どう進めるのか。

**町長** 専門担当課設置の意義については、平成23年度実施をめどに、現在の企画振興課10名を「企画政策課」と「商工観光交流課」に再編したい。後者は、地元産業の振興のため、商工業振興や雇用対策推進、町の特産品及び観光資源などを活用し、各部門が連携できる施策を展開し、三種町を全国に売り込みながら、地場産業を振興することを目的としている。

じゅんさい産業育成策については、商工会が「森岳じゅんさい産業育成ビジョン」を策定中で、これからの方向性

を示すものである。これを受けて関係団体及び事業者等からなる「(仮称)森岳じゅんさいの里活性化対策協議会」を設立したいと考えている。来年度は、ふるさと雇用臨時対策基金事業を活用し、じゅんさい産業育成事業でPR用リーフレットの作成やマーケティング調査等の基礎づくりを行う。



じゅんさいの摘み取り